

広報

おきなわ

2015
APRIL

4

NO.490

OKINAWA CITY NEWS・広報おきなわ



平成27年度 施政方針 2~7

赤ちゃんゾウ誕生 8

フォトニュース・話題 10・11

今月の人・わった〜じちくわい 12・13

広島東洋カープ 春季キャンプ 15

沖縄市の給与・定員管理等について 18・19

第2回 コザひなまつり 21

お知らせ 22~27

琉球競馬 シマハラシー開催!!

琉球王朝時代から始まったとされる琉球競馬のシマハラシー。速さを競う現代の競馬とは異なり、在来馬が優雅に走る姿を競う伝統のシマハラシーは、多くの人を魅了する。(沖縄こどもの国ハイビスカス広場)

ホームページ <http://www.city.okinawa.okinawa.jp/>



昨年、市制施行四十周年を迎えた沖縄市において、本年は輝かしい未来に向け、さらなる発展に挑戦する年となります。

景気の緩やかな回復、観光入域客数の増加や近隣への大型商業施設の立地など、本市を取り巻く社会経済情勢が大きく変化する中、大胆な発想と行動力で、わがまちの優れた潜在能力を如何なく発揮する取り組みをすすめてまいります。

「地域の活性化と雇用の創出」、「子育て支援と人材育成の充実」、「健康増進と福祉の充実」、「平和と文化の発信」、「都市基盤の整備と環境との調和」を柱に、夢と希望のもてるまちをめざす

平成二十七年度における市の予算は、「活力あふれる沖縄市」を推進するために、総額で千四十五億二千六十万円となっております。

沖縄市議会二月定例会が二月十七日に開かれ、桑江市長より平成二十七年度施政方針が発表されました。今月号は、そのあらましを紹介いたします。



平成二十七年・施政方針（概要）

昨年、若者をはじめとする多くの市民の皆さまのご信任を賜り、沖繩市長に就任いたしました。それから、まもなく二年を迎えようとしております。

私は、この間、各種懇談会や自治会における敬老会等々、あらゆる機会でも市民の皆さまと直に、お会いすることを大切にしてまいりました。多くの方々の対話を通して、まちの活性化に対する思いや願いを痛感しつつ、市民の皆さまの激励、お力添えをいただいたことに深く感謝を申し上げます。

まちの活性化への期待の大きさを真摯に受け止め、市民が夢と希望のもてるまちづくりに、使命感を抱き邁進していく決意を新たにしております。

また、市制施行四十周年を迎えた沖繩市におきましては、未来を見据え、果敢に時代を切り拓いた先人たちに感謝と敬意を表するとともに、本市のさらなる発展へ挑戦していく決意の年となりました。

我が国の景気は、穏やかな回復基調が続いているとされ、政府は、デフレからの脱却を確実なものとし、経済再生と財政再建の双方を同時に実現していくことをめざしています。

地方への好循環拡大に向けた

緊急経済対策を示すとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、新たな交付金制度の創設などを位置づけており、地方自治体は自らの創意・工夫と情熱で魅力ある地域づくりを一層求められております。

世界水準の観光リゾート地の形成を掲げる沖繩県では、2014年の観光入域客数が航空路線の拡充やクルーズ船の寄港回数の増加、円安等を背景に、過去最高を更新し初めて七百万人を突破いたしました。

また、那覇空港を拠点とする物流ハブ形成の進展や那覇港における新たな物流網の構築とともに、アジア市場をにらんだ国内最大級の商談会となる沖繩大交易会が開催されるなど、交流や交易への期待が年々高まりをみせています。

近隣に大型商業施設が立地し、経済への影響が懸念されて久しい沖繩市においては、さらに今春アジアの観光客をも視野に、リゾートモールをコンセプトとする県内最大規模の商業施設が隣接します。

また、県内においては、著名な企業により沖繩エンターテインメントビルディング構想や新たなテーマパークの開設が検討されるなど、本市を取り巻く社会経済状況が大きく

変化することが危惧されます。このような中、我々は、手をこまねくことなく、このまちを愛する情熱とエネルギーを結集し、購買人口の減少に対する不安や危機感等を乗り越え、近隣の誘客機能の高い施設から購買力を吸引し、まちを活性化させるチャンスに変えていこうではありませんか。

私は、大胆な発想と行動力で、他地域にない新たな価値を提供できる優位性の確保に向け、本島の南北交通の結節機能を活かし、わがまちの優れた潜在能力を如何なく発揮させる取り組みをすすめております。

県内唯一の本格的動物園「沖繩こども国」において、全国でも繁殖が稀な子ゾウの誕生は、当動物園の飼育環境が高く評価され、今後の運営にも大きな期待が寄せられています。

亜熱帯の地域特性や島嶼性の自然環境が織りなす沖繩の地で、大きなゾウが戯れる光景に、子どもたちの弾ける笑顔と人々の歓喜がこだまする風景が、今から目に浮かんでまいります。

動物とのふれあいや個性的な展示手法など、グランドデザイン創りが着々とすすめられており、内外から多くの人々が訪れる全国的にもユニークな施設への整備拡充を強力にすすめてまいります。

国や県とともにすすめられてきた東部海浜開発事業につきま

しては、いよいよ埋め立て完了が視野に入つてまいります。

中城湾の静穏な海域に、約1kmにも及ぶビーチを有する滞在型リゾートとスポーツの一大拠点を形成させ、本市の中心市街地はもとより、近隣の誘客機能の高い施設等とも連動させ、相乗効果による地域の活性化と雇用の創出をめざします。

昨年は、人工島より花火を打ち上げ、長期にわたる事業展開を市民等へ周知するとともに、東部まつりとの連携により、地域の活性化につなげております。

近い将来、人工島を核に中城湾に臨む近隣市町村が一体となつて、西海岸に匹敵するような賑わいを創出し、広域的な活性化へとつながる夢が広がつてまいります。

多目的アリーナにつかましましては、コザ運動公園内への立地に向け、基本構想の策定をすすめるなか、国内外において、コンサートや各種スポーツ、コンベンション機能など、プロモーションおよび運営手法も含めて調査・検討をおこない、施設概要等の具体化に取り組んでまいります。

市民の期待に応えるべく、活力あふれる沖繩市のランドマークとして、早期完成をめざしています。

若者たちの夢を育み、熱いまなざしが注がれるサーキット場の整備につかましては、生産拠点等の形成でアジア各地との交易にも寄与する自動車関連産業等の

誘致を念頭に、全国で展開される既存施設の運営形態等の調査をすすめております。

安定的かつ大規模な雇用の創出は、このまちの発展に不可欠であり、将来を見据え、地理的特性等を活かせるよう取り組んでまいります。

戦後、多種多様な文化が融合し、混在一体となつた新しい文化が発信され、多様な芸能・芸術文化活動が盛んなこのまちにあつて、人々に愛され親しまれ、絆を深めた沖繩全島エイサーまつりが六十回の大きな節目を迎えます。

旧盆の各地域におけるエイサーの熱気が冷めやらぬまま、人々はまつりの賑わいへと誘われ、コザ運動公園界隈がまつり一色に染まり、まちは夏のクライマックスを迎えてきました。

いまや、日本の夏の風物詩ともいわれるまつりへと発展しており、次代へ継承する貴重な財産として、本市の誇る地域の文化力を存分に発揮できるよう取り組んでまいります。

私は、潜在的な地域資源と新たな観光資源、さらには、県内の誘客機能の高い施設等との相乗効果で、市全域でテーマパークのような活力の創出をめざしています。

一方、公立小学校のこともたちが、全国学力テストで総合二十四位に躍進したことは、県民に大きな勇気を与えてくれました。

「やればできる」を体現し、子どもたちが自ら飛躍する契機となることを願い、本市においてもさらなる学力向上に取り組みまいります。

子ども・子育て支援新制度の施行を受け、待機児童の解消および五歳児保育問題等への対応とともに、放課後児童クラブや児童館の整備に向けた取り組みなど、このまちの未来への投資として、こどもたちの健やかな成長を全力で支えてまいります。

長寿県沖縄をとりもどせるよう、市民の健康維持に向け、生涯にわたる健康づくりを支援するとともに、高齢者のインフルエンザ定期予防接種費用の無料化など、だれもが安心して暮らせるよう取り組んでまいります。

今年、凄惨な沖縄戦の終結から七十年を迎える節目の年となります。激動の歴史のなかで人々がひたむきに生き、今日の繁栄を懸命に築いてまいりました。

私は、沖縄が交流と交易をおしてアジア、世界へ貢献していくことを願いつつ、平和と安全・安心、そして、自立した発展をめざしていくことが大変重要だと考えております。

全国の米軍専用施設の約74%が集中する沖縄の過重な基地負担のなかで、国から示されている統合計画においては、牧港補給地区の倉庫群やキャンプ瑞慶覧のスクールバスサービス関連施設の

移設先に、嘉手納弾薬庫知花地区が位置づけられるなど、市町村間における返還と移設という二律背反の側面は否めません。

基地の整理・縮小による沖縄の将来を見据え、苦慮しながらも来るべき時期においては、沖縄の振興と発展、地元意向など総合的な見地から判断せざるを得ないことを、市民の皆さまにご理解を賜りたいと考えております。

私は、特定商業集積施設コリソンの再生とあわせ、市民待望の図書館の整備を本格化させるとともに、中心市街地活性化に係る施策として、国や県の支援拡充を受け、山里第一地区市街地再開発事業の実現に力強く踏み出すなど、市長就任以来、職員と一丸となって全力を尽くしております。

平成二十七年度の重点的な施策

■地域の活性化と雇用の創出

観光振興につきましては、プロスポーツをはじめ、コンサートやコンベンション機能などを有する多目的アリーナの整備に向け、基本計画の策定および基本設計に取り組みまいります。

また、一番街や銀天街などで撮影され、大勢の市民が出演する映画「天の茶助」や観光ポ

タルサイト「KOZAWEB」等を活用し、本市の魅力ある観光地やイベント情報を発信するとともに、沖縄国際カーニバルの開催を支援するなど、観光誘客を図ってまいります。

エイサーのまちの推進につきましては、(仮称)青年エイサー会館の開設をめざし、モデル事業の実施や施設改修に向け取り組みとともに、地域で開催するエイサーイベントなどを支援いたします。

また、沖縄全島エイサーまつりにつきましては、会場においてレーザーショーや花火の打ち上げを実施するとともに、第六十回の記念事業として、沖縄全島エイサーまつり写真コンテストを開催いたします。

スポーツコンベンションシティの推進につきましては、(仮称)沖縄市多目的広場の整備に取り組むとともに、スポーツ合宿の受け入れ等に寄与する備品を充実いたします。

また、広島東洋カープやFC琉球の活動を支援するとともに、スポーツキャンプ等の誘致に取り組んでまいります。

音楽によるにぎわいの創出につきましては、ミュージックタウン音市場を中心とした音のページェント等の開催やライブハウスの音楽情報の発信などを実施するとともに、本市の音楽・芸能資源の収集や常設展示の充実に取り

組んでまいります。

また、本市で開催される多彩な音楽イベントを新たに支援いたします。

中心市街地の活性化につきましては、コリンザの再生に向け図書館や雇用促進施設として整備いたします。

また、「沖縄市中心市街地活性化基本計画」の次期計画の策定や、市民活動団体等の情報の提供・相談などに取り組みとともに、小中高校生等による吹奏楽コンサートなどの開催を支援いたします。

商店街等におきましては、新規店舗や既存店舗の改修費用等を支援し、魅力ある店舗の創出を促進するとともに、胡屋地区商店街が主体となったまちづくりビジョンの作成等を支援いたします。

また、「かなでるパーク」などのイベント開催の支援やスポーツイベントとの連携等による誘客拡大を図り、商店街のにぎわい創出に向け取り組んでまいります。

企業誘致の推進につきましては、準工業地域において、製造関連企業の誘致に向けた環境整備に関する基本計画を策定するとともに、インターチェンジの設置促進に努めてまいります。

また、サーキット場の整備および自動車関連産業の誘致に向け取り組むとともに、企業情報の収集や立地企業への支援、関係

機関との連携による企業誘致活動を展開いたします。

地元中小企業の振興につきましては、沖縄市中小企業振興推進会議における中小企業者等からの意見を施策に反映するとともに、米軍発注業務の受注にかかわる翻訳等のサポートやセミナーの開催による中小企業従事者の技術力向上を支援いたします。

また、住宅リフォーム支援事業につきましては、市内住宅関連産業の活性化および市民の住環境の向上を図ってまいります。

ものづくり産業の振興につきましては、知花花織の担い手育成や沖縄市工芸フェアの開催を支援するなど、工芸によるまちづくりを推進いたします。

また、地域ブランド認定制度や商品開発の支援など、沖縄市のブランド創出を促進いたします。

農業の振興につきましては、「沖縄市人・農地プラン」に位置づけられた農業者への支援策を展開するとともに、青年給付金対象者への就業意欲の向上と継続的な就農を図ってまいります。

また、沖縄東中学校周辺における農道につきましては、みなし歩道を整備いたします。

畜産農家の経営安定や地元畜産物のブランド化を促進するたため、和牛改良に向けた優良種畜導入を新たに支援いたします。

また、子牛の生産等に対し支

援するとともに、養豚農家へ優良種畜の無償貸し付けをおこないます。

水産業の振興につきましては、サンゴ群生地の育成や白イカ産卵床の設置などの支援により、つくり育てる漁業を促進するとともに、市民と生産者との交流を図る港まつりの開催を支援いたします。

雇用対策につきましては、沖縄市就労支援センターにおいて、一般、高齢者等の就労相談から職業紹介までの就労支援に取り組むとともに、中心市街地就労等支援施設ファミリーサポート・ジヨブカフェにおきましては、若者や子育て世代を対象とした職業体験および就職活動に対する幼児の一時預かりなどを実施いたします。

また、心因性の理由等により就職が困難な若者へのインターンシップや職業訓練などをおこないます。

ひとり親家庭への就労支援につきましては、高等職業訓練の資格取得に関する給付期間を延長するなど、経済的・社会的自立を促進いたします。

また、中の町地区土地区画整理事業につきましては、事業認可の取得をおこない、換地方針の策定等に取り組んでまいります。

胡屋十字路からコザ十字路間の国道330号の拡幅につきましては、引き続き国・県等との連携を図りながら、事業化に向けた取り組み等をすすめるとともに、沿線の生活環境の改善および中心市街地の活性化に向けた土地利用の検討をおこないます。

また、沖縄こどもの国周辺道路につきましては、快適な歩行空間整備に取り組んでまいります。東部海浜開発事業につきましては、段階的な開発を見据えた防災基本計画の策定に向けた調査や環境利用学習に取り組むとともに、環境に配慮した埋め立て事業を促進してまいります。

■子育て支援と人材育成の充実

「沖縄こどもの国」につきましては、動物や園舎・園路と相まった空間づくり等により、国内に類を見ないユニークで魅力ある施設整備に向け、基本計画の策定に取り組んでまいります。

また、飼育環境の充実を図るため、ゾウ舎の工事を実施するとともに、こどもの国公園の園

路等の施設整備をおこないます。

すべてのこどもが安心して健やかに育まれるよう、「沖縄市子ども・子育て支援事業計画」にもとづき、幼児教育と保育の質の向上および教育・保育提供体制の量の確保、質の高い地域子ども・子育て支援事業の実施に取り組んでまいります。

こどもやその保護者などが支援事業等を円滑に利用できるよう、子育て家庭への情報の提供や相談・援助などをおこなう利用者支援窓口を新たに設置いたします。

保育環境の整備につきましては、泡瀬保育所の建替えに伴う基本設計に着手するとともに、多様な保育ニーズに対応するため、新たに地域型保育の実施に向け取り組んでまいります。

待機児童解消の推進につきましては、認可保育所の施設整備や認可外保育施設の認可化に対する支援をおこなうなど、保育所の定員拡大を図ってまいります。

幼稚園教育の充実につきましては、泡瀬幼稚園と比屋根幼稚園における給食の提供をモデル事業として実施いたします。

また、市立幼稚園の預かり保育時間の延長および保育期間を学年末まで延長するとともに、民間保育施設の幼稚園児預かり保育に対する支援をおこないます。

学校給食につきましては、老朽化した第二調理場の改築に向け取り組むとともに、食物アレルギーへの対応の充実を図り、安全・安心な学校給食を提供してまいります。

また、多子世帯の保護者の負担軽減を図るため、本市の小・中学校に在籍する児童生徒のうち、同一世帯の三人目以降に対し学校給食費を助成いたします。

こどもの健やかな成長と子育て世帯の経済的負担の軽減を図るため、引き続き就学前までの通院と中学生までの入院にかかる医療費を助成いたします。

こどもたちの健全育成を推進するため、小学校区ごとの公設放課後児童クラブの設置をめざし、整備計画の策定に取り組むとともに、放課後児童クラブの支援をおこないます。

また、中学校区ごとの児童館整備に向け取り組むとともに、小学校の教室等を活用した放課後子ども教室を実施するなど、放課後児童の居場所づくりをすすめてまいります。

こどもたちの健やかな発育と健康の支援につきましては、妊娠、出産、不妊、育児に関する相談や、夫婦などを対象とした教室を開催するとともに、生後四か月までの乳児がいるすべての家庭への訪問による養育環境等の把握や育児相談を実施するなど、健全な育成環境の確保に努めてまいります。

また、発達が気になる子等に對し、早期発見・早期支援に取り組んでまいります。

家庭への子育て支援につきましては、絵本を介して親子がふれあう機会を促進するため、絵本の読み聞かせや配布などをおこないます。

こどもたちの文化活動に参加する機会づくりのため、こどもの文化活動団体へ新たに支援いたします。

また、こどもたちが社会の一員としてまちづくりに参画する「沖縄市こども議会」の開催により、こどもたちの主体的な活動を応援してまいります。

教育環境の整備につきましては、島袋小学校校舎の改築工事に着手するとともに、中の町小学校屋内運動場の増設改築および安慶田中学校校舎の耐震補強工事等を実施いたします。

また、小学校の楽器や中の町小学校全面改築に伴う備品などを整備いたします。

学力の向上につきましては、確かな学力の育成に向け、教科コーディネーターや学習支援員等を配置し、児童生徒一人ひとりに応じた学習指導の充実を図ってまいります。

また、学習意欲の向上を図るため、中学生の検定試験受験料の一部助成や科学による体験学習およびキャリア教育に取り組んでまいります。

国際理解教育の推進につきましては、各小・中学校に英語指導手を配置するとともに、小学校のクラブ活動において、中国・韓国の文化や言語にふれる機会をつくってまいります。

また、中学生を対象とした海外ホームステイをおこなってまいります。

学校等における個に応じた支援につきましては、適応指導教室などにおいて不登校児童生徒への学校復帰をめざした支援に取り組みとともに、スクールカウンセラー等の配置による相談支援および小・中学校に学校支援教育補助者を配置するなど、児童生徒の教育的支援等をおこないます。

また、特別な支援が必要な児童生徒や外国人児童生徒を対象に、特別支援教育補助者や日本語指導員を配置いたします。

社会生活を円滑に営む上で困難を有する中学校卒業から三十三歳代までの若者を対象とした若者相談窓口を新たに設置いたします。

また、青少年の悩みに対し、電話・来所・訪問による相談をおこなうとともに、街頭指導および登下校の巡回指導などに取り組んでまいります。

国内交流の推進につきましては、兄弟都市の豊中市が企画制作する演劇公演を開催するとともに、姉妹都市との教育文化交

流などをおこないます。

国際交流の推進につきましては、コザインターナショナルプラザにおいて各種語学講座や国際交流サロンなどを実施するとともに、海外移住者子弟研修生の受け入れや海外姉妹都市レイクウッド市への留学生支援をおこないます。

また、日常生活コミュニケーションブックの発行や多言語による行政相談に取り組みなど、多文化共生による社会づくりを推進いたします。

健康増進と福祉の充実

人権擁護につきましては、高齢者の金銭管理等に関する相談支援や認知症高齢者等を対象とした法人組織による後見業務などをおこなうとともに、人権教室の開催や特設人権相談所の開設を支援いたします。

男女共同参画社会づくりの推進につきましては、きらめきフェスタにおいてワーク・ライフ・バランスに関する講演会を実施するとともに、啓発紙「きらめきの発行や各種講座の開催などに取り組んでまいります。

福祉のまちづくりにつきましては、福祉の担い手やボランティアの育成、小規模の地域ネットワーク活動などを支援するとともに、福祉の総合的な推進を図る「第五次沖縄市地域保健福祉計画」

の策定に向けて取り組んでまいります。

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、介護保険制度の改正に伴う認知症や生活支援への対応に向けて取り組むとともに、介護予防に関する相談・支援などを実施いたします。

障がい者が自立した日常生活をおくれるよう、障がい者やその家族などが互いの悩みを共有することへの支援等を充実するとともに、より専門的な相談支援を目的とした助言や地域のネットワークづくりなどに取り組んでまいります。

市民の健康増進につきましては、身近な地域におけるウォーキングコースの設定に向けて取り組むとともに、市民主体の健康づくりや健康診査等をもとにした保健指導を実施するなど、生活習慣病対策を推進いたします。

また、高齢者のインフルエンザ定期予防接種費用を無料化いたします。

地域において必要とされる救急や小児医療の不採算医療に対する支援および本市の保健・福祉事業等の充実を目的として、公益性の高い社会医療法人への新たな助成に取り組んでまいります。

国民健康保険事業につきましては、保険料の収納率の向上や医療費の適正化に努めるなど、安定的な運営に取り組んでまい

ります。

また、後期高齢者医療制度における人間ドック等検診料、はり、きゅう、あん摩マッサージ施術費用を支援するとともに、葬祭費への助成を拡充いたします。

生活困窮者の自立を促進するため、相談窓口を新たに設置するとともに、離職により住居を喪失するおそれのある方などへの住居確保給付金の支給や、こどもたちの学習支援をおこないます。

また、要保護者の程度に応じた生活保護の適正な実施に取り組んでまいります。

自殺対策につきましては、自殺予防週間等における啓発活動や未然防止に向けた人材養成の研修をおこないます。

消費者の安全・安心のため、多様化する消費生活に関する相談支援の充実にも努め、消費者行政を継続的に取り組んでまいります。

平和と文化の発信

平和行政の推進につきましては、終戦七十周年および核兵器廃絶平和都市宣言三十周年の節目を迎えるにあたり、沖縄市民平和の日記念行事等とおして平和を広く発信するとともに、平和大使の長崎市などへの派遣や姉妹都市米沢市の中学生との平和交流をおこないます。

文化の振興につきましては、新

たなイベントとして「(仮称)沖縄市芸能フェスティバル」を開催するとともに、市民が文化芸術に親しむワークショップや市内団体等が出演する吹奏楽フェスティバルを実施いたします。

また、沖縄市民会館大ホールの舞台機構や照明設備、中ホールの音響調整卓等を改修するとともに、市民の主体的な文化芸術活動を支援いたします。

沖縄市戦後文化資料展示室「ヒストリート」につきましては、展示室の充実に向けて取り組むとともに、終戦七十周年をテーマにした特別企画展等の開催や戦後の本市に関する新聞デジタル資料の収集などをおこないます。

また、沖縄市史第五巻(移民編、戦争編)等の発刊に向けて調査・編集に取り組んでまいります。

生涯学習の推進につきましては、コリンザにおける新たな図書館整備に向け、改修工事を実施するとともに、生涯学習フェスティバルや各種講座の開催などに取り組んでまいります。

また、地域の青年会活動の充実化を促進するため、エイサー等に関する物品購入を支援いたします。

市民スポーツの推進につきましては、小・中学校体育施設を開放するとともに、市民が気軽に参加できるスポーツイベントの開催などに取り組んでまいります。

地域コミュニティの活性化につ
きましては、自治会加入の促進
につながる支援や軽貨物自動車
購入等への助成を新たに実施す
るとともに、中の町地区学習等
用施設の改修や安慶田自治公民
館のバリアフリー化への支援をお
こないます。

■都市基盤の整備と環境との調和

土地区画整理事業につきましては、美里第二土地区画整理事業における物件等補償調査業務や区画道路工事を実施するとともに、美里土地区画整理事業の竣工記念誌を作成いたします。

キャンブ瑞慶覧地区につきましては、返還後の円滑な土地利用に向け、ロウワープラザ住宅地区における公有地の先行取得を実施するとともに、地権者への情報提供をおこないます。

住環境の整備につきましては、泡瀬市営住宅の基本設計に取り組みとともに、安慶田市営住宅の第二期工事および第三期の実設計等をおこないます。

また、池原市営住宅の耐震診断をおこなうとともに、登川市営住宅の維持補修工事等を実施いたします。

公園整備につきましては、(仮称)美東公園および若夏公園の工事等を実施するとともに、老朽化した公園遊具の改築等に取り組んでまいります。

また、緑地の活用に向け、海
中道路跡都市緑地の工事等を実
施いたします。

市民の緑化意識の高揚および
市街地における緑地空間の創出・
保全を図るため、花いっぱい推進
運動を展開するとともに、幹線
道路における花壇整備を実施い
たします。

上水道事業につきましては、基
幹管路等の水道施設の耐震化を
推進し、災害に強い施設整備に
取り組んでまいります。

公共下水道事業につきましては
は、知花地区や美里地区等の
汚水管路工事および土地地区
等の改築工事を実施するととも
に、知花第二ポンプ場の機械、
電気設備改築工事をおこな
います。

また、県の河川改修に伴う汚
水管路の移設工事を実施いたし
ます。

雨水排水対策につきましては、
知花地区や比屋根地区等の浸水
対策に向け取り組んでまいります。
道路整備につきましては、安
慶田中線や東南植物楽園線の用
地取得および物件移転補償等
に取り組むとともに、市道松本
30号線の工事等を実施いたし
ます。

また、里道の適正な維持管理
に向け境界確定調査をおこな
います。
災害に強いまちづくりにつつま
しては、市内小学校へ備蓄倉庫

を設置するとともに、自主防災
組織がおこなう防災意識の普及
啓発への新たな支援や被災者支
援システムの導入などに取り組ん
でまいります。

(仮称)津波避難ビルの整備に
向け調査・検討をすすめること
ともに、防災行政無線子局のデ
ジタル化をおこないます。

また、古謝地区や比屋根地区
において里道を活用した災害時の
緊急避難通路を整備いたします。
消防体制につきましては、消
防緊急通信指令装置および小型
動力ポンプ付き水槽車を更新す
るとともに、心肺蘇生法等に関
する講習会の開催などに取り組
んでまいります。

新たなLED保安灯の設置や
老朽化した保安灯のLED化を
おこなうとともに、自治会の保
安灯電気料金を支援し、防犯に
おける安全・安心な生活環境の
整備を推進いたします。

北部地区につきましては、環
境調査を実施するなど周辺環境
との調和を図ってまいります。

また、火葬場につきましては、
「沖繩市火葬場基本構想」をふ
まえ、整備に向けた検討をすす
めてまいります。

一般廃棄物の適正な処理およ
び発生抑制を図り、持続可能な
循環型社会の構築に向け、「沖繩
市一般廃棄物処理基本計画」を
策定いたします。
また、低炭素社会の構築に向

け、住宅用太陽光発電システム
設置の支援やエコドライブ教習等
を実施いたします。

以上、平成二十七年の重点的
な施策の概要を申し上げます。

我が国は、急速な高齢化を背
景とする社会保障経費の増加、
名目経済成長率の低迷など、厳
しい財政状況にあるといわれてい
ます。

また、本市においても、依然
として財源の大半を地方交付税
や国庫支出金等に依存した財政
基盤となつているとともに、生活
保護費や医療費にかかる社会保
障経費や公債費の増加など、厳
しい財政運営が懸念されてお
ります。

このような状況において、旺
盛な行政需要へ対応し、財政運
営の透明性を高め、公共サービ
スの質を向上させていくことが、
地方自治体として求められてお
ります。

市民ニーズを的確に把握し、
限られた財源や資源を有効活用
することが大変重要となつてま
います。

本市のまちづくりの根幹となる
「第四次沖繩市総合計画」の具
体的な施策等を示す後期基本計
画および市民目線の行政改革に
向けた「第五次沖繩市行政改革
大綱」の策定に取り組んでま

ります。

また、教育委員会と首長との
連携強化、地方教育行政の責任
の明確化等を目的とした地方教
育行政の制度見直しなど、時代
に対応した組織改革等に取り組
んでまいります。

人口減少、高齢化が懸念される
なか、政府は地方の仕事や人口の
増加による地域の活性化をめざし
ており、時代に対応した地域づく
りが一層求められています。

本市のあらゆる地域資源を活
用し、文化的特性などを伸張さ
せ、諸課題には果敢に挑み、活
力を創出させることで、市民の
皆さまがこのまちに住み続け、
そして誇れるまちをめざしてま
います。

昨年五月の就任以来、職員と
ともに「活力あふれる沖繩市」
の実現に向け、「くわえびジョン」
でお示した主要プロジェクトを
はじめとする様々な取り組みを
力強く始動させ、日々気運の高
まりを感じております。

私は、沖繩市の舵取りを託して
いただいた市民の皆さまの期待に
応えるべく、本市の発展に向け情
熱的に挑戦し続けてまいります。

議員の皆さま並びに市民の皆
さまのより一層のご理解とご協力
をお願い申し上げます。私の
施政方針といたします。

平成二十七年二月十七日

沖繩市長 桑江 朝千夫

色とりどりの花が咲き誇る

沖縄こどもの国 花まつり

「第六回 沖縄こどもの国 花まつり2015」が二月二十一日から三月十五日までの期間、同園で開催された。

今年は「サンライズ」をテーマに、三十八品種・三万ポッド以上の草花が園内を彩った。入口で来



▲園内を飾る寄せ植え

場者を迎えるゾウの親子のトピアリーや、縦と横の長さが約十六メートルにもおよぶ、太陽をモチーフにした県内最大級の花絵のほか、ハンギングバスケットや寄せ植えなど、見どころ満載の園内では、来場者が季節の花の鑑賞や写真撮影を楽しむ様子が見られた。また、オーナメントづくりや寄せ植え、フラワーアレンジメントなどの体験型講座も開かれ好評だった。最終日の三月十五日には、園内の花を持ち帰ることができる毎年恒例のイベント「花のつめ放題」も行われ、大勢の来場者が買い求めた。



▲ゾウの親子のトピアリーは人気の撮影スポット



▲メイン会場に広がる県内最大級の花絵



▶華麗な側対歩で優勝したナナミと山本騎手

24頭が走りの優雅さを競う

琉球競馬 シマハラシー開催

人と馬が一体となり、優雅に走る姿を競う琉球競馬「シマハラシー」が三月一日、沖縄こどもの国 ハイビスカス広場で開催された。

シマハラシーは、速さだけでなく、右前脚と右後脚、左前脚と左後脚を交互に動かす「側対歩」と呼ばれる独特の走り方で、リズムの正確さや馬と人の姿勢など、優雅さを競う琉球競馬で、太平洋戦争の影響で途絶えたが、平成二十五年に約七十年ぶりに復活した。

今回のシマハラシーには、県内各地から、与那国馬やポニーなど、二十四頭が出場し、走りの美しさを競った。審査の結果、側対歩の華麗な走りが評価され、沖縄こどもの国の「ナナミ」が優勝し、準優勝は琉球大学馬術部の「マンガタミー」となった。

待望の赤ちゃんゾウ誕生

こどもの国に新しい仲間

沖縄こどもの国で飼育しているインドゾウの琉花(十四歳)が、三月四日に雌のゾウを出産した。県内におけるゾウの出産は今回が初めてで、国内では十例目となる。

生まれたゾウは体高85センチメートル、体重96センチメートル、体重100キログラムで、出産から十五分後に飼育員の補助を受けて立ち上がった。

琉花は平成十九年十二月に雄の琉人(十二歳)と共にインド

から沖縄こどもの国に來園して以来、同園では繁殖を目指し飼育してきた。おとしの九月に琉花のホルモン量から妊娠の兆候を見つけ、昨年二月に実施したエコー検査で妊娠を確認した。ホルモンバランスの調査や、性成熟、発情、交尾、出産までを記録した事例は国内でも初めてで、今後の繁殖計画に活用される。赤ちゃんゾウは、早ければ四月上旬より時間の制限を設けて一般公開する予定となっている。



▲▶インドゾウの琉花と赤ちゃんゾウ (写真提供: 沖縄こどもの国)





▲ 様々な唄を歌いこなす島唄の名手、神谷幸一さん



▲ りんげんバンドの華やかなステージ



▲ 会場を盛り上げる仲宗根創さんの唄三線



▲ 力強くバチを振る園田青年会のエイサー演舞



▲ 実力派の若手、HIKARIさん

沖縄音楽のルーツを奏でる

第3回 根音ウマチー

沖縄市市制施行四十周年記念音のページメント『第三回根音ウマチー』（沖縄市主催）が三月十四日と十五日にコザ・ミュージックタウン一階の音楽広場と特設ステージを会場に開催された。

イベントは、ま

ちをステージに古くから沖縄に伝わる音楽をクオリティの高いプログラムで披露することをコンセプトに開催され、神谷幸一さん、前川守賢さん、島袋辰也さん、仲宗根創さん、知念こずえさん、村吉茜さん、HIKARIさん、りんげんバンド、沖縄市芸能団体協議会、泡瀬京太郎保存会、園田エイサーが出演した。会場には大勢の観客が集まり、民謡や琉球古典音楽、琉舞、エイサー、沖縄ポプスなどのステージを楽しんだ。また、今年は座喜味棒保存会の演舞も披露されたほか、出演者と観客全員による「ていんさぐぬ花」の合唱やカチャーシーも行われ、会場は大いに盛り上がった。



▲ 幕開けは沖縄市芸能団体協議会の演奏



▲ 中ホール前の広場では管楽器カラオケが行われた



▲ サングラスをかけたパン三世のテーマを演奏する山内中学校



▲ リズミカルな動きも交えながら演奏した比屋根小学校

市内の吹奏楽団が大集結

第四回 沖縄市吹奏楽フェスティバル

市内の吹奏楽団が集結し演奏を披露する第四回 沖縄市吹奏楽フェスティバル（沖縄市主催）が三月十五日に沖縄市民会館の大ホールと中ホール前広場を会場に開催された。

同フェスティバルには、市内の小学校九校、中学校五校、コザ高校と一般の吹奏楽団二団体の合計十七団体が出演し、大ホールでは、アンサンブルと合奏、中ホール前広場では管楽器カラオケの演奏が披露された。フィナーレでは、全出演者約六百人による大迫力の「アフリカンシンフォニー」と「世界中のこどもたちが」の二曲が演奏され、来場者を楽しました。また、会場では、父母らによるカレーや沖縄そばの販売も行われ、昼食時間には来場者や出演者が手作りの味を楽しんだ。

地域で豊かな心を育てる 子ども会の活動を発表

平成二十六年年度沖縄市青少年育成市民会議モデル支部に指定された同会議の古謝支部で三月八日に実践活動発表会が行われた。同支部には、コスモス子ども会、豆獅子子ども会、あおぞら子ども会の三つの子ども会があり、相互に連携して様々な活動を行っている。

発表会では、新聞スクラップ教室や新春もちつき大会、食育の一環として、じやがいもの植えつけから収穫し調理して食べるまで、安全なまちづくり推進協議会長賞を受賞した防災安全マップの作成など、子ども会と地域が一体となつて子ども達の豊かな心と健やかでたくましい心身を育むために行った一年間の活動内容が報告された。



▲ 実践発表の前に古謝翔龍太鼓と古謝獅子舞保存会の演舞も披露された

目指せナンバー 1 ボウラー

沖縄市シニアボウリング大会

ボウリングを通して高齢者の親睦を深め、健康・体力の保持増進を図ろうと、3月4日に第18回沖縄市シニアボウリング大会(沖縄市・かりゆしシニアクラブ主催)が登川のドラゴンボウルで開催された。大会には市内在住の60歳以上の選手109人が参加し、2ゲームの合計得点を競った。男性の部で優勝したのは我喜屋朝正さん(古謝)で、合計得点は401点。2位が廣山進さん(山内)、3位は儀間泰夫さん(美里)。女性の部は安村良子さん(泡瀬)が合計得点319点で優勝。2位に瑞慶山明子さん(室川)、3位は住田茂子さん(諸見里)だった。



▲ ストライクをねらって投球

地域に広がる、つながりの場 地域サロン講演会

年齢や性別、障がいの有無に関係なく、地域住民が自宅から歩いて行ける場所に気軽に集い、交流する場として全国各地で「地域サロン」の活動が広がっている。

市では地域サロンの推進を図るため二月十七日に沖縄市農民研修センターで講演会を行い、約百二十人が参加した。

講演会では、沖縄市安慶田の「ゆくい処」や那覇市真地団地の「百金食堂」、大阪府での事例などが紹介され、地域サロンの立ち上げから運営の方法が説明されたほか、地域サロンが交流の場として、生きがいづくりや友達づくりなどに役立つことが紹介された。



▲ 実際に携わっている人の話が聞けるため、参加者から多くの質問が寄せられた

ふあふあバウンシー登場

東南植物楽園が大型エア遊具設置

東南植物楽園に大型エア遊具コーナーが設置され、3月1日にオープンした。設置されたのは、高さ9メートルの巨大すべり台「フットスライダー」をはじめ、跳びはねたりすべったりして楽しむ遊具5つで、東南植物楽園のロゴやヤシの木などがデザインされている。エア遊具が屋外に常設されるのは県内初で、遊具は東南植物楽園の入園料のみで自由に遊ぶことができる。2月28日にはオープンに先だって体験会が開かれ、知花自治会のこども達が招待された。一足先に遊具を体験したこども達は笑顔ではしゃぎまわっていた。



▲ 「フットスライダー」を楽しむこども達

交通安全で全国表彰

高江洲昌徳さんと光陽タクシー

東京都で二月十五日と十六日に開かれた「第五十五回 交通安全全国国民運動中央大会」で、沖縄市の高江洲昌徳さんと光陽タクシー合名会社（嘉陽宗憲代表）が表彰された。

高江洲さんは昭和五十年に東宝タクシーに就職し平成二十二年に退職。在職中から現在まで無事故・無違反を守っており、交通栄誉賞「緑十字金賞」を受章した。光陽タクシー合名会社は、社員が一丸となって交通安全対策を推進しており、優良事業所として表彰された。二月十七日にはNBC（日本プライダルセーター）で祝賀会が開かれ、多くの関係者が出席した。



▲左から高江洲昌徳さん美江子さん夫婦と光陽タクシー合名会社の嘉陽宗憲代表

いざという時はみんなで助け合う

東桃原自治会が防災避難訓練を実施

東桃原自治会の自主防災組織が、地震に伴う津波を想定した避難訓練を3月15日に実施した。同組織では、津波が発生した時の避難場所や避難ルートなどを定めた避難計画を策定しており、今回の避難訓練では、避難計画書のとおり避難することで、計画の確認と検証を行った。避難訓練には、地域住民に加え、沖縄東中学校の生徒も参加し、車いすや担架などを使い、地震で被災した住民の搬送や高齢者をはじめとする要介護者を避難誘導する訓練も行われた。東桃原自治会では、地域で助け合う共助の精神で、災害に備えたまちづくりを進めている。



▲車いすを利用して避難訓練を行う沖縄東中学校の生徒達

会員の力作を展示・即売

かりゆしシニアクラブ作品展

沖縄市老人福祉センターかりゆし園で二月二十一日と二十二日に、第四十一回かりゆしシニアクラブ作品展（かりゆしシニアクラブ主催）が開催された。

今年の作品展も「沖縄市生きがい事業 作品展」との合同開催となり、会場には老人クラブや沖縄市生きがい事業の活動で制作された工芸品、手芸品、絵画、書道作品、写真、盆栽、生け花など、様々な作品が展示された。かばんや編み物、農産物などの即売コーナーは例年人気を集めており、今年も多く来場者が作品を買い求めた。その他にも手芸体験やサイクルバザーなどのコーナーも設けられ、会場は大勢の来場者でにぎわった。



▲作品に見入る来場者

関連機関が連携し安全に処理

中城湾で不発弾処理

中城湾港泊地浚渫工事で発見された不発弾が3月16日に水中爆破処理された。不発弾は製造国判別不能の3インチ艦砲弾（長さ約47センチメートル、重さ6キログラム）2発で、2月3日に発見された。処理当日は桑江市長を本部長とする沖縄市不発弾処理現地対策本部が同港に設置され、沖縄市、うるま市、沖縄県、沖縄警察署、海上保安庁の協力のもと、不発弾は海上自衛隊沖縄基地隊により水深8メートルの海中で無事に爆破処理された。作業に伴い、処理現場から半径300メートルが航泊禁止、半径3キロメートルが入水規制となった。



▲中城湾港に設置された対策本部

今月の人



275

仲村 優佑さん (21)

世界で活躍する
トップライダーへ

三重県鈴鹿サーキットで昨年十一月に開催されたバイクレースの全国大会で接戦を制し仲村優佑さんが優勝した。仲村さんはこの優勝を機にアジア大会への参加が決まっている。今月は仲村さんに、バイクレースの魅力や今後の目標について話を聞いた。

仲村さんがバイクに興味を持ったきっかけは、父親が県内のバイクレースに出場しており、幼い頃からその姿を見ていたからで、自分もバイクに乗って走ってみたいと思ったからだ。六歳でモトクロスレース(オフロードのコースを走るバイクレース)を始め、十二歳よりミニバイクに転向する。ミニバイクレースでは十二歳の時に県内で開催されたレースで初優勝した。そして、十五歳の時に県外の大会に初挑戦する。だが、結果は十八台中十位という成績で悔しい思いをしたそうだ。その悔しさをバネに挑戦を続けると順位を上げ、二年前には全国二位にまで駆け上がった。

昨年は、ミニバイクから250ccのバイクにステップアップし、中国エリアのロードレースで優勝を重ねた。その結果、昨年十一月に三重県鈴鹿サーキットで開催された全国大会『DUNLOP杯グラウンドチャンピオンシップ2014』への出場も果たした。この大会は各エリアの上位ライダーのみが出場することができるもので、アジア・ドリーム・カップ出場の見込みも兼ねている。出場する四十人のライダー全員が、同じコンディションのマシンで競うため、純粋な実力のみで勝負が決まるレースだ。

レースは、ゴール直前まで八人のライダーによる激しいトップ争いとなったが、仲村さんが制して優勝し、見事、日本一の栄冠に輝いた。この優勝により仲村さんは、日本代表としてアジア・ドリーム・カップに二年間出場する。

仲村さんは、昨年から努力を重ねてきたので、今回のDUNLOP杯の優勝は、その成果だと思っている。今年はアジアのトップに立てるよう頑張りたい。アジアでトップに立ち、来年にはイタリア、その次の年には世界のレースで走れるようになりたい」と語った。

バイクレースは一見すると、危険なスポーツに思えるが適切な装備で臨めば、大きなケガもなく安全なモータースポーツだという。そんなバイクの魅力を仲村さんに聞くと「人より前に出て走れることがとても気持ちがよく、また、バイクのセッティング(調整)がうまくいき、自分の思った通りの走りかできた時は達成感があり楽しい」という答えが返ってきた。また「レース環境にあまり恵まれていない沖縄出身の自分が、アジアのトップ、そして世界のトップライダーになることで後輩達を刺激し、沖縄の競技人口が増えてくれればうれしい。また、多くの人にレースの素晴らしさを伝えたい」と話した。

仲村さんの世界を目指した挑戦は始まったばかり。これからの夢に向かって駆け上がっていく。

戦後文化シニアター

今月のヒストリート

先月に引き続き「Aサイン」に関連したモノ資料を紹介します。

本土復帰前のコザの歓楽街は、米兵達で大いに賑わい、多くのAサインの店が立ち並んでいました。「Aサイン」とは米軍人・軍属が立ち寄っても良いという許可証の事で、米兵相手のバーやキャバレー、ホテルなどには必ずそれが掲げられていました。米軍の許可制度は米兵相手に商売をする店に限らず、ベストソーダやミッションコーラなどの島生産の清涼飲料やお酒の販売にも及びました。左の写真は同じく米軍の許可を得て基地内外で販売されていたAサイン入りの焼酎「白鷺」です。

一九五八年に白鷺の販売が開始されると、六〇年代前半には米兵達に絶大な人気を誇り、酒類の中で最も多く飲まれる銘柄となりました。味はジンやウォッカに近く、アルコール度数30%で匂いも強いことから、通称「爆弾」と呼ばれ、コーラやソーダで割って飲むのが一般的だったようです。

Aサイン入りの焼酎「白鷺」の他にも、戦後の沖縄市の歴史を語るモノ資料は、ヒストリート本館とヒストリートIIに展示しています。ぜひ、みなさま足をお運び下さい。



■ 市史編集担当 /
Tel: 929-4128 (直通)
■ ヒストリート、ヒストリートII /
TEL: 929-2922

越来自治会

公民館建設で地域がひとつに

越来自治会(當山全克会長)では現在、築四十八年になる公民館の建て替えの準備を進めている。平成二十四年に準備委員会を発足し計画を練っているが、話し合いを夜間に行い、地域住民が参加しやすいようにしている。これにより、公民館に足を運ぶことの少なかった若い世代が中心になり、いいものをつくろうと盛り上がっている。當山会長は公民館建設を機に地域の絆が深まったと喜んでおり、「自分たちでつくり上げた公民館

には愛着がわき、足も運びやすくなるので、地域住民全員に関わって欲しい」と話している。

越来自治会には踊りや三線、体操、卓球など、様々なサークルがあるが、新たな地域交流の取り組みとして毎月第三土曜日の午前九時から公民館で「越来朝市」を開催している。朝市には地域の方が自作の野菜や惣菜などを持ち寄って販売し、ゆんたくを楽しんでいる。地域住民に「わったー公民館」と親しんでもらえるように頑張っていくきたいと當山会長は話している。

海邦町自治会

地域で子ども達の居場所づくり

海邦町自治会(饒平名良雄会長)は平成十四年に誕生した沖縄市で最も新しい自治会で、昨年三月にマンタ公園の向かいに待望の自治会館「海邦町コミュニティホームマンタ」を建設した。

海邦町自治会では、こどもの居場所づくりに力を入れており、『マンタ寺子屋』や『科学教室』を開いている。『マンタ寺子屋』は「勉強は、理解すれば好きになる」との考えから開かれたもので、学校の宿題や授業の復習をしている。



公民館建設の話し合いを重ねる地域住民

講師は自治会の事務員が務め、子ども達に楽しく勉強してもらおうと工夫しながら取り組んでいる。『科学教室』は、子ども達に工作や実験を楽しんでもらう教室となつている。また、昨年十二月から今年の二月には、子ども達が保護者のサポートを受けながら料理する『KIDS料理教室&地域食事も』も開催した。饒平名会長は「昨年は長年の目標だった自治会の活動拠点となる自治会館も完成したので、これからは住民目線の活動に力を入れていきたい」と話している。

KOZA CHOICE!

住 所：沖縄市比屋根2-2-8
 営業時間：午前10時～午後7時30分
 土・祝日午前10時～午後6時
 定休日：日曜日
 問合せ：TEL 098-880-6866



今回の【KOZA CHOICE! (「サチヨイス」)】は、オーガニック市場でんぶずの「ゴーヤーちゃん」をご紹介します。

沖縄市比屋根にある「オーガニック市場でんぶず」は、沖縄でも老舗のオーガニック食品の専門店、野菜やお米などの食材はもろんのこと、自然飼育された肉や卵、洗剤や石鹸などの日用品も扱う総合スーパーです。

また、オーガニック食材で作った弁当や惣菜も大人気で、その惣菜を目当てに全県からお客さんが訪れます。その他、ベジタリアンの方の要望に応えた惣菜なども充実しています。

今回ご紹介している「ゴーヤーちゃん」は、昔は多くの家庭で作られていたのですが、今ではほとんど見られなくなった「ゴーヤー」の黒糖和えをオーガニック栽培された県産「ゴーヤー」を原料にして作った、昔ながらのお茶受けです。

「食べものへの安心と安全が求められる今、オーガニック食材で母さん達の手伝いをしたい」というオーナーの真栄田さんは、日々お客さんの声に耳を傾けながら、若い人からお年寄りまで誰でも楽しめるオーガニックライフを提案しています。

商品名：ゴーヤーちゃん
 事業所名：オーガニック市場でんぶず
 職 種：小売・飲食店
 理事長：真栄田 笑美子

KOZA CHOICE!

トップ選手が沖縄市に

全日本女子バレー沖縄合宿決定

平成二十七年全日本女子バレーボールチーム沖縄県合宿が四月二十三日から二十六日までの日程で、沖縄市で開催されることが決した。

合宿は七月に開催されるFIVB(国際バレーボール連盟)ワールドグランプリと、八月から九月にかけて開催されるFIVBワールドカップに向けた強化が目的で、同ワールドカップの上位二チームは2016年リオデジャネイロオリンピックの出場権が得られる。練習は沖縄市体育館で行い、バレーボール教室のイベントも計画している。三月九日に開かれた記者会見で桑江市長は「沖縄県バレーボール協会の会長会長や新垣理事のご尽力で合宿は実現した。合宿が実り多いものとなるよう市としても全力でバックアップしていきたい」と話した。



▲沖縄市での合宿が決まり、市役所で行われた記者会見の様子

▶上位入賞した出店者と関係者



オリジナルAランチを競う

第四回 コザAランチ選手権

コザ運動公園で二月二十二日に第四回 コザAランチ選手権(同実行委員会主催)が開催された。選手権には市内外の八店舗が出店し、オリジナルAランチの味を競った。会場は大勢の来場者でにぎわい、出店テナの前には長蛇の列ができた。選手権の順位は、食事券購入の際に配布される「割り箸」の投票数で決められ、二位のAグランプリには自家製ベーコンや牛くし、ジャークチキンなどの

肉料理を皿いっぱい盛り付けたパナマ原人の「BBQ Aランチセット」が選ばれた。パナマ原人の親泊圭吾店長は「三月に沖縄市中央に出店するため、PRになればと出場した。準備に追われ、寝る間もなかつたが、まさか、優勝できるとは」と喜んだ。二位のBグランプリはビストロまあるの「ステーキAランチ」、三位のCグランプリは居酒屋ありがどうの「特選穀物牛が入った彩りAランチ」だった。

県内最大級の工芸品展示即売会

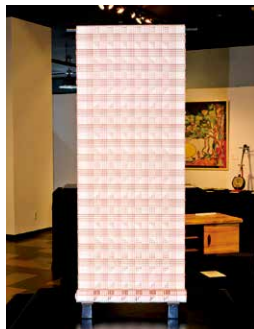
第13回 沖縄市工芸フェア開催

第十三回沖縄市工芸フェアが三月十二日から十五日の期間、プラザハウスショッピングセンターを会場に開催された。

工芸フェアには県内五十一の工房が展示し、様々な工芸品が展示即売された。また、市工芸コンテスト「第十三回 Craft in 沖縄市」も開催され、入賞作品が展示された。そのほかに、工芸品の制作体験や制作実演、オークションなども行われ、会場は多くの来場者でにぎわった。



▲グランプリ作品の艶華(冷酒セット)



▲準グランプリに選ばれた知花花織帯地「誕生」



▲革工芸の体験コーナー



▲多数の工芸品が並んだ会場



▲工芸コンテストの入賞者



▲那覇空港で歓迎の花束が贈られた



▲実戦を想定した練習が繰り返された



▲歓迎セレモニーで整列する選手達

常昇魂 RED RISING

広島東洋カープ 春季沖縄キャンプ

日本一の栄冠に向け始動する。

今シーズンから広島東洋カープの監督に就任した緒方孝市監督が、春季日南キャンプを終え、選手らを率い二月十六日に沖縄入りした。

空港には春季沖縄キャンプインを歓迎しようと、桑江市長をはじめ広島東洋カープ沖縄協力会(新垣直彦会長)や関係者に加え、多くのファンが出迎えに訪れ、到着した緒方監督らにミスハイビスカスから歓迎の花束が贈られた。

今年の広島東洋カープのキャッチフレーズは「常昇魂」。「常勝」と「上昇を組み合わせたキャッチフレーズで、新監督のもと、常勝チームへの道を歩み、チーム順位も個人成績も、常に高みを目指し、「魂」あふれるプレーで観る人の心を熱くするという決意が込められている。

春季沖縄キャンプの初日には、コザしんきんスタジアムで、練習開始前に、歓迎セレモニーが行われた。セレモニーでは、緒方監督

から「沖縄春季キャンプから実戦的な練習が始まる。優勝に向けて実りのあるキャンプにすること力強い決意が語られた。

今年の沖縄春季キャンプの目玉は、何と言っても米大リーグ・ヤンキースから復帰した背番号「15」の黒田博樹投手。取材する報道陣の数もさることながら、黒田投手を一目見ようと、連日多くのファンが球場を訪れた。

キャンプ二日目はセルラースタジアム那覇で読売ジャイアンツとのオープン戦。三日目はコザしんきんスタジアムで千葉ロッテマリーンズとの練習試合。四日目は降は基礎練習や練習試合などが行われ、三月二日に充実の春季キャンプは終了した。

二年連続Aクラス入りし、クライマックスシリーズ進出を果たした広島東洋カープ。黒田選手に加え、前田健太選手、野村祐輔選手、大瀬良大地選手などの充実した投手陣を要する今シーズンは、三月二十七日に開幕する。



▲練習試合前にランニングをする選手達



▲大リーグから帰ってきた黒田投手



▲実戦さながらの気迫あふれるプレー



▲2014新人王を受賞した大瀬良投手



▲練習試合には多くのファンが球場を訪れた



▲子どもとカープ女子が選手を応援



▲コザ・ミュージックタウンでは沖縄春季キャンプ歴史写真展が開催された

接戦を制し大分大会優勝

美原小男子ミニバスケットボール部

美原小学校の男子ミニバスケットボール部が二月十四日と十五日に大分県で行われた第十四回大分県小学生バスケットボールブロック選抜大会で優勝した。三月三日に選手たちが沖縄市の狩俣教育長を訪ね優勝報告を行った。副キャプテンの藪亀悠人君は「勝ち進むにつれ、相手も強くなり、決勝の別府選抜との試合は二ゴール差での勝利だった。最後の大会で優勝できて良かった」と話し、狩俣教育長は「レベルの高い大会で選抜チームを破つての価値ある優勝で、日頃の練習のたまもの。今後心・技・体を磨き、中学校でもがんばってください」と激励した。



強い気持ちで大会に臨み、優勝した選手達



迫力ある執心鐘入の一場面

迫力あるステージを披露

こども組踊公演

市内で日々練習を重ねた四歳から高校生までの総勢百人余りのこども達が出演する「こども組踊」(沖縄市主催)が二月二十一日と二十二日の二日間、沖縄市民小劇場あしびなーで開催された。

公演は、約五十人による「安波節」の斉唱で幕を開け、鮮やかな「松竹梅鶴亀」や元氣いっぱい「農民口説」などの舞踊が披露され、地謡もこども達が務めた。第二部の組踊「執心鐘入」では、きらびやかな衣装を身にまとった出演者が堂々と長ゼリフを披露し、迫力ある舞台に観客が見入っていた。

初めて食べたよ♪

食用菊を給食に提供

沖縄市の主要農産物である「食用菊」のピールと食育の推進を目的に、J A コザ支店園芸生産部会が市給食センターに食用菊を提供した。食用菊は、県内では沖縄市のみで生産されており、観賞用に比べ苦みが少なく、ほのかな甘さがある。

提供された十三キロの食用菊は、三月三日のひな祭りの日に、市内の各小中学校の給食で、すまし汁や和え物、ちらしずしといったメニューで提供され、越来小学校の二年一組では、生産農家の高江洲繁さんとこども達が一緒に給食を味わった。



初めて食用菊を食べて大喜びのこども達



練習の成果を父母や関係者に披露した

豊かな感性や表現力を育む

沖縄市こども三線学級発表会

沖縄市こども三線学級は、こども達が三線を学ぶことで、豊かな感性や表現力を育み、次代を担うこども達に郷土の伝統文化を継承していくことを目的に行われており、三月一日に沖縄市民小劇場あしびなーで第二十八期生の発表会・修了式が開催された。

沖縄市こども三線学級では、歌・三線の指導だけでなく、物事を習う上で大切な礼儀作法や素直な心の育成にも取り組んできた。こども達は、安波節や安里屋ユンタなど昨年八月から一生懸命練習してきた成果を発表した。

元気いっぱい成果を発表

青少年センター子ども発表会

沖縄市青少年センターの発表会が三月二日、市民会館大ホールで開催され、市内八小学校の放課後子ども教室、沖縄市の各子ども会、青少年センターダンススクールの子ども達が出演し、日頃の練習の成果を披露した。

放課後子ども教室の発表では、泡瀬小学校の太正琴やコザ小学校のおおなわ跳びなどが披露され、沖縄市子ども会は、ジュニアリーダークラブのしまくとぅばによる芝居(オペレッタ)や泡瀬わらべ太鼓子ども会による和太鼓演奏と空手の形の共演を披露した。最後は、青少年センターダンススクール九期生二十八人が元気いっぱいダンスを踊った。



▶フラダンスを披露した高原小学校の放課後子ども教室

楽しく子育てをしよう

いきいき子育て交流会

親子のふれあいと親同士の仲間づくりを図り、「のびのび」「いきいき」とともに接し、楽しんで子育てができるように、二月二十六日、市民会館中ホールで平成二十六年度いきいき子育て交流会(沖縄市主催)が開催され、多くの親子連れが参加した。

交流会では、市内子育てサークルの紹介や児童文化サークルのコントスによる人形劇と絵本の読み聞かせ、食生活改善推進員による乳幼児期の手作りおやつ紹介と試食が行われ、参加した多くの子育て中の方が、互いに交流を図りながらイベントを楽しんだ。



▶絵本の読み聞かせに夢中になる子どもたち



▶恐る恐るおばけやしきを進む子ども達

妖怪学校には何が潜む?

児童センターおばけやしき

市福祉文化プラザ内の児童センターで二月二十七日と二十八日に、おばけやしき「Specter's Center」妖怪学校」が開催された。催しは「妖怪学校」にやって来た子ども達の楽しそうな声に誘われて妖怪が現れる」という設定のおばけやしきで、近隣の保育園や幼稚園、小学校の子ども達が訪れた。おばけやしきは奥に進むと暗くなり妖怪が現れる。あまりの怖さに泣き出ししてしまう子どもや足がすくんで進めなくなった子ども姿も見られた。催しの準備・運営は実行委員の小学生達が行い、夢咲学園の生徒がサポートした。

わらべうたでスキンシップ

子育て講座(子育てわらべうた)



▶講座の参加者にオリジナルDVDがプレゼントされた

少子化や核家族化など、家庭をめぐむ状況が変化する中で、市では乳幼児健診の機会を活用し、親子のふれあいをテーマとした「子育て講座」を行っている。三月一日に市保健相談センターロビーで行われた講座では、子どもと一緒にわらべうたでの遊び方を楽しく学んだ。わらべうたは、赤ちゃんにとつて心の母乳といわれ、遊びながらコミュニケーションを取ったり、体を動かしたりするなど成長に必要な様々な要素が含まれている。この日、講座の参加者には、講師の田中美也子先生が所属する「NPO法人うーいらみや」から、わらべうたのオリジナルDVDがプレゼントされた。

沖縄市の給与・定員管理等について

本市職員の給与については、市議会での給与条例、予算審議を通じて明らかにされています。
ここでは、主に市職員の給与の実態について、その概算をお知らせします。

(1) 人件費の状況(普通会計決算)

区分	住民基本台帳人口 (平成26年3月31日現在)	歳出額 (A)	実質収支	人件費 (B)	人件費率 (B/A)	(参考) 平成24年度の人件費率
平成25年度	138,663人	59,917,429千円	1,585,567千円	7,195,797千円	12.0%	13.7%

(注) 人件費は、特別職に支給される給料・報酬等を含む額です。

(2) 職員給与費の状況(普通会計決算)

区分	職員数 (A)	給与費				1人当たり給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計(B)	
平成25年度	868人	2,762,835千円	490,302千円	1,009,816千円	4,262,953千円	4,911千円

(注) 1 職員手当には、退職手当を含みません。

2 職員数は、平成25年4月1日現在の人数です。教育長(1人)は含みません。

(3) 職員の平均給料月額、平均年齢の状況 平成26年4月1日現在

区分	一般行政職		現業職	
	平均給料月額	平均年齢	平均給料月額	平均年齢
沖縄市	289,400円	39.3歳	318,300円	48.1歳

(4) 職員の初任給の状況 平成26年4月1日現在

区分	沖縄市	
一般行政職	大学卒	172,200円
	高校卒	140,100円
現業職	高校卒	137,200円
	中学卒	129,200円

(注) 採用前に民間企業等の経歴がある場合は、加算されることがあります。

(5) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況 平成26年4月1日現在

区分	経験年数10年	経験年数15年	経験年数20年	
一般行政職	大学卒	255,973円	313,223円	342,500円
	高校卒	214,225円	249,600円	317,750円
現業職	高校卒	-	-	278,180円※
	中学卒	-	-	-

(注) 1 経験年数とは、通常は採用後の年数を言いますが、採用前に民間企業等の経歴がある場合は、一定の換算方法により加算されています。

2 対象となる職員がない場合は、「ハイフン(-)」とし、3人以下の場合は、個人情報保護の観点から、経験年数に幅を持たせ平均を出しました。
(※18年~22年)

(6) 一般行政職の級別職員数の状況 平成26年4月1日現在

区分	8級	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準的な職務内容	部長	次長	次長課長	課長課長補佐	課長補佐係長	係長主任	主事	主事	-
職員数	9人	4人	31人	51人	126人	154人	77人	74人	526人
構成比	1.7%	0.8%	5.9%	9.7%	24.0%	29.3%	14.6%	14.1%	100%
参考 1年前構成比	2.1%	1.1%	5.9%	9.3%	23.9%	30.4%	13.5%	13.9%	100%

(注) 1 沖縄市の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数です。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職名です。

(7) 期末手当の状況 平成26年4月1日現在

6月期	1.90月分
12月期	2.05月分
計	3.95月分

(8) 退職手当の状況

平成26年4月1日現在

区分	沖繩市		
	自己都合退職	勸奨・定年退職	
支給率	勤続20年	21.62 月分	27.025 月分
	勤続25年	30.82 月分	36.57 月分
	勤続35年	43.70 月分	52.44 月分
	最高限度率	52.44 月分	52.44 月分
その他の加算措置		定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	
退職時の特別昇給		なし	
1人当たり平均支給額(注)		10,493 千円	23,485 千円

(注) 退職手当の1人当たりの平均支給額は、平成25年度に退職した職員に支給された平均額です。

(9) 職員手当の状況

平成26年4月1日現在

区分	内容	手当額(月額)	
主要 三 手 当	扶養手当 扶養親族(配偶者、22歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある子、60歳以上の父母等)のいる職員に支給されます。	配偶者 13,000円 子等 6,500円 (配偶者なしの場合、うち1人については11,000円) 子(16歳年度初め~22歳年度末) 加算 5,000円	
	住居手当 住居を借り受け、または所有している職員に支給されます。	借り受け 最高支給額 22,000円	
	通勤手当 通勤距離が片道1km以上で、バス・自家用車等を利用している職員に支給されます。	【バス】 運賃額45,000円までは運賃相当額、45,000円を超える場合は加算措置あり。支給限度額50,000円 【自家用車】 距離に応じて2,700円~26,200円	
特殊 勤 務 手 当	職員全体に占める手当支給職員の割合	32.2%	
	支給対象職員1人当たり平均支給年額	50,789円	
	手当の種類	15種類	
	代表的な手当の名称	支給額の多い手当 建築主事手当・固定資産評価員手当・社会福祉業務手当・保育所長手当・副園長手当 多くの職員に支給されている手当 消防活動手当・保育業務従事手当・税務手当・社会福祉業務手当	
時間外 勤 務 手 当	(平成25年度決算)支給総額	192,735千円	支給職員1人当たり平均支給年額 205千円
	(平成24年度決算)支給総額	186,548千円	支給職員1人当たり平均支給年額 198千円

(注) 公営企業分は含みません。

(10) 特別職の報酬等の状況

平成26年4月1日現在

区分	給料月額等	期末手当支給割合	
給料	市長	903,000円	6月期 1.40月分
	副市長	746,000円	12月期 1.55月分
	教育長・水道局長	674,000円	計 2.95月分
報酬	議長	520,000円	6月期 1.50月分
	副議長	461,000円	12月期 1.65月分
	議員	433,000円	計 3.15月分

(注) 特別職の報酬等については、市内各界の代表者で構成する「特別職報酬等審議会」の意見を聴き、一般職とは別の条例で制定されます。

(11) 部門別職員数の状況

(各年4月1日現在 単位:人)

部門	区分	職員数(人)		対前年増減数
		平成25年	平成26年	
一般行政部門	議会	10	10	0
	総務	163	160	△3
	税務	62	62	0
	労働	5	5	0
	農林水産	22	21	△1
	商工	22	23	1
	土木	69	70	1
	民生	175	175	0
	衛生	48	47	△1
	小計	576	573	△3
部門特別行政	教育	190	189	△1
	消防	103	108	5
	小計	293	297	4
普通会計		869	870	1
会計部門 公営企業等	水道	52	52	0
	下水道	17	18	1
	その他	54	53	△1
	小計	123	123	0
合計		992	993	1

(注) 1 職員数は一般職に属する職員数であり、地方公務員の身分を保有する休職者、派遣職員を含み、臨時または非常勤職員を除いています。

2 ここでの職員数は、教育長(1人)を含んでいます。

キャリア教育について考える

第1回 沖縄市グッジョブ・フォーラム

沖縄市民会館で三月七日に第一回 沖縄市グッジョブ・フォーラム(沖縄市グッジョブ連携協議会主催)が開催された。

同フォーラムでは、市出身でお笑い芸人のベンビー(大嶺巻さん)が基調講演で自身の体験を語り、美里工業高校やコザ高校の生徒らによる就業意識向上に向けた取組の紹介などが行われた。最後は、五人のパネリストによる「沖縄市の次世代を担う人材の育成を考える」と題したシンポジウムが行われ「キャリア教育は人を育てる取組で、家庭や学校、地域が一丸となつて、子ども達を見守り、育むことが大切」と提言された。



▲シンポジウムは、教諭やPTA、地元企業、生徒を代表した五人のパネリストで行われた



▶市役所を訪れた脳科学者の茂木健一郎さん(右)

良質の音について語る

茂木健一郎さん来沖

脳科学者の茂木健一郎さんが、二月二十五日に桑江市長を訪ね良質の音が脳に与える影響について語った。茂木さんは、沖縄市地域ブランド認定制度K O Z A S T A R S(コザスター)のプロモーション活動の一環で、平成二十三年十二月にコザスターに認定された「アンプ&スピーカー」を制作している知名オーディオの知名宏師さんと対談を行うために来沖しており、知名さんとの対談後、市役所を訪れた。茂木さんは「本物の音は、脳の感情の回路に刺激を与えるので、質の良いスピーカーで音楽を聞くことが大切だ」と語った。

多くの分野で地域振興の取組を確認

地域振興連携包括協定書を締結

ライカム地区地域振興連絡協議会(北中城村・沖縄市・北谷町)が三月十二日、イオンモール株式会社とイオン琉球株式会社の三者間で地域振興連携包括協定書を締結した。

同協議会は、米軍アワセゴルフ場跡地があるライカム地区の開発に伴い、地域振興を目的として二月十六日に近隣の三市町村で発足した。

今回の協定締結で、四月二十五日にオープンするイオンモール沖縄ライカムの集客力を活用して、観光や文化芸術の振興、地産地消の推進と地産品の販売促進、地域社会の活性化など、行政や商工会議所(商工会)、企業が連携して地域振興に取り組むことが確認された。



▲桑江市長(右から2番目)と新垣商工会議所会頭(左から2番目)が締結式に出席した



▶市長や担当に調査結果を報告した

エイサーグッズの市場調査を行う

沖国大 宮森ゼミが報告

沖縄国際大学の宮森正樹教授のゼミに所属する学生が、三月九日に市役所でエイサーグッズの市場調査結果を報告した。市では、エイサーのまちづくり推進計画を進めており、エイサーグッズの開発による地域産業の充実・発展や販路拡大の強化を行っている。今回、宮森ゼミの学生は市場動向を把握するためのマーケティング調査を行い、エイサーグッズの認知度や今後の課題などを報告した。調査の結果を受けて市の担当は「今年は全島エイサーまつりが六十回を迎えるので記念グッズ開発に活かしていきたい」と話した。

百人の琉装行列で盛り上がる

一番街で第二回コザひなまつり開催

一番街商店街で二月二十五日から三月三日の間、第二回コザひなまつり(沖縄市市民活動交流センター)主催が開催された。

まつり期間中、商店街のコージーセントラルではNPO法人沖縄県琉球創作人形協会の制作した人形と市内外から寄贈されたひな人形、約三百体が展示された。二月二十八日には、メインイベントの百人琉装道ジュネーが行われ、琉装をまとった越来の王の浜下りを再現した約百人の行列が商店街とその周辺をねり歩き、最後は観客とカチャーシーを踊

り盛り上がった。そのほかにも、商店街にある四つのゲーム会場でミッションに挑戦する「ひなまつりこどもミッションゲーム」や、商店街の店舗を巡ってキーワードを完成させる「まちなかスタンプラリー」が開催され、こども達が商店街を駆け回る様子が見られた。

また、花もちづくりや紅型コースターづくりなどの体験型ワークショップも行われたほか、商店街に設置された街中ステージでは、うちなーぐち紙芝居や日本舞踊などが披露され、来場者を楽しませた。



▲100人で商店街を練り歩いた琉装道ジュネー



▲コージーセントラルには約三百体の人形が飾られた

世界の芸能文化とふれあうまつり

沖縄市国際交流フェスティバル

第二十五回沖縄市国際交流フェスティバル(同実行委員会主催)が二月二十一日と二十二日に一番街商店街とパルミラ通りを会場に開催された。



▲アフリカの打楽器「トーキングドラム」の演奏



▲息を合わせてリズムカルに踊るバンブーダンス

一番街商店街には特設ステージが設置され、フラダンス・バンブーダンス・ベリーダンス・フラメンコなどの華やかなダンスや、中国武術・空手の演武、バイオリン・ドラム演奏など、世界各国の芸能が披露され、観客を楽しませた。

また、同商店街のコージーセントラルでは交流の様子を紹介する写真の展示や世界の料理展などが行われ、パルミラ通りにはガーナ、ハワイ、台湾、インド、タイ、ペルーなどの料理を味わうことができる多国籍屋台村が設置され、多くの来場者でにぎわった。二十二日には、一番街商店街の



▲様々な料理で来場者を楽しませた多国籍屋台村

朝ごはん食べてね

4月は進学や就職などにより、これまでと環境が変わり、食事が不規則になる方も多い時期です。大事な時季だからこそ、朝ごはんを食べる習慣を確立し、一日をしっかりと活動できるようにしたいですね。忙しい朝でも、10分でできるスープを紹介します。冷蔵庫にある食材を使ってアレンジしてみるのもいいですよ！

マカロニスープ

◆材料(4人分)

※ マカロニ……………30g

玉ねぎ……………1/4個

しめじ……………1/2袋

ベーコン……………2枚

ごま油……………小さじ1

だし汁……………3カップ

塩……………小さじ1/2

◆作り方

①鍋にごま油を熱し、適当な大きさに切った※を炒め、玉ねぎがしんなりしたらだし汁を加える。

②①にマカロニを加え、弱火で5分ほど加熱し、塩で調味する。

◆一人分/93キロカロリー、食塩相当量1.0g



食育推進野菜キャラクター

市民健康課

内線2241

暮らし

MR第二期 予防接種を受けましよう

麻疹(はしか)・風しん(三日はしか)の感染予防には、MR(麻疹風しん混合)ワクチンの二回接種が有効です。

MR定期予防接種は、第一期(二歳児)に一回目、第二期(小学校入学前の一年間)に二回目を接種することになっていきます。平成二十七年年度のMR第二期予防接種の内容は次のとおりです。

対象者／平成二十一年四月二日から平成二十二年四月一日生まれの児

対象期間／平成二十七年四月一日(水)～平成二十八年三月三十一日(木)

接種回数／一回
接種費用／無料(全額公費)

接種場所／指定医療機関(要予約)

※多くの方が一斉に予防接種を受けることで、感染予防効果が高まります。四月から六月の間に接種を済ませるようにしましょう。
問合せ／こども相談・健康課 予防係

内線(22322233)

国民年金保険料 学生納付特例制度のご案内

四月二日より、平成二十七年学生納付特例申請受付が始まります。二十歳以上の方は、学生であっても国民年金に加入しなければなりません。

学生は一般的に所得が少ないため、学生本人の所得が一定以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される「学生納付特例制度」があります(家族の方の所得は問いません)。

対象／学校教育法に規定する大学(院)、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校(修業年限一年以上である課程)に在学する学生など

承認期間／四月～翌年三月
申請に必要な書類など

- 本人が申請する場合…学生であることを証明する書類(在学証明書・学生証等)
- 代理人が申請する場合…代理人の身分証明書・印鑑(代理人が同一世帯でない場合は委任状が必要)

詳細については、担当課までお問合わせください。
問合せ／市民課 国民年金担当

内線(213112134)

後期高齢者医療保険にご加入の方・ご家族の方へ

平成二十七年四月より、「沖縄市後期高齢者医療葬祭費補助金」の金額が三万円に引き上げられます。

後期高齢医療保険の加入者で、平成二十七年四月一日以降に亡くなられた方に対し適用されます。

沖縄県後期高齢者医療広域連合からは、別途二万円が支給されます。

◎「平成二十七年度はり・きゅう・あん摩マッサージ指圧施術利用券」の交付受付をします。

- 初回の申請で利用券(六枚綴り)を一冊交付します。
- 指定治療院で一枚につき千円を助成します。

申請には、利用者本人の保険証と印鑑(認印)が必要です。代理申請の場合は、代理人の身分証と印鑑(認印)も必要です。

※受付定員に限りがございますので、予めご了承下さい。
※利用券には有効期限がありますのでご注意ください。
受付・問合せ／国民健康保険課 後期高齢医療係

内線(21182128)

平成27年度 沖縄市保育所保育料について

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、沖縄市保育所保育料(月額)を一部改定しています。

●平成27年度 沖縄市保育所保育料基準額表

階層区分	推定年収(目安)	保育料				
		3歳未満児		3歳以上児		
		保育標準時間	保育短時間	保育標準時間	保育短時間	
1	生活保護世帯等	-	0	0	0	0
2	非課税世帯	ひとり親世帯及び在宅障がい児(者)のいる世帯	0	0	0	0
		上記以外の世帯	8,000	7,800	5,400	5,300
3	課税額 48,600円未満	ひとり親世帯及び在宅障がい児(者)のいる世帯	13,100	12,800	11,000	10,800
		上記以外の世帯	15,700	15,400	13,100	12,800
4	課税額 97,000円未満	~470万円	24,000	23,500	19,300	18,900
5	課税額 169,000円未満	~640万円	36,600	35,900	26,100	25,600
6	課税額 301,000円未満	~930万円	41,300	40,500	27,200	26,700
7	課税額 397,000円未満	~1,130万円	41,800	41,000	28,200	27,700
8	課税額 397,000円以上	1,130万円~	51,000	50,100	32,100	31,500

※課税額は、市町村民税所得割額

○保育所保育料の主な変更点

- ・保育標準時間(11時間/1日)は第2階層(市民税非課税世帯)を除き、現行保育料と同額とします。
- ・保育短時間(8時間/1日)は、概ね保育標準時間の保育料から1.7%減額します。
- ・第2階層(市民税非課税世帯)の保育料を減額します。
3歳未満児→▲1,000円(9,000円→8,000円)
3歳以上児→▲600円(6,000円→5,400円)

備考)

- 4月から8月分の保育料は平成26年度の市町村民税(平成25年中の収入に対するもの)、9月から3月分の保育料は平成27年度の市町村民税(平成26年中の収入に対するもの)により決定されます。
 - 未申告により課税状況が確認できない場合は、最高額の8階層の保育料となる場合がありますので、お早めに申告を行なって下さい。
 - 平成26年1月2日以降に沖縄市へ転入された方は、本市で課税状況が確認できないため、平成26年1月1日に住所を有していた市町村にて「平成26年度所得課税証明書」を取得し、市保育・幼稚園課にご提出下さい。
 - 推定年収は、夫婦(共働き)と子ども2人のモデル世帯におけるおおまかな目安です。
- ※小学校就学前の範囲において、最年長の子どもから順に2人目は半額、3人目以降については無償となります。

問合せ／保育・幼稚園課 保育係 内線(3135・3136)

沖縄市建設工事の入札における 工事費内訳書の提出について

入札に参加しようとする方の適正な積算を促進するため、公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律が改正されました。

この法律は、入札参加者に工事費内訳書の提出が義務づけられ、平成二十七年四月一日(水)から施行されます。

そのため、全ての公共工事入札時に、入札書と工事費内訳書を提出していただきますので、ご留意願います。

※詳細はお問合せいただくか、市のホームページをご参照ください。
問合せ／契約管財課
内線(2093・2099)

平成二十六年年度保安灯 設置事業について

本市では、防犯や夜間の良好な歩行空間の確保を図り、市民の安心・安全に資するため、特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用し、平成二十六年年度保安灯設置事業として、市内各地に六二三基のLED保安灯を新設・改修しました。

LEDは、従来の水銀灯や蛍光灯に比べ省エネルギーで、

電気料金も安くなります。

今後も保安灯のLED化を進め、市民の安心・安全の確保に努めてまいります。

問合せ／市民生活課 交通防犯係
内線(2298)

日本赤十字社 東日本大震災 義援金受付期間延長について

日本赤十字社 東日本大震災義援金に多くのご支援ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

このたび、日本赤十字社は東日本大震災義援金の受付期間を一年間延長することを決定いたしました。

【延長期間】

平成二十七年四月一日(水)から平成二十八年三月三十一日(木)まで引き続き皆様のご支援をよろしく願います。

問合せ／市民生活課 市民生活係
内線(2207)

牛・豚・山羊を 飼育されている皆様へ

口蹄疫発生予防の徹底について

昨年、韓国で口蹄疫の発生が確認されて以降、他の東アジア諸国でも口蹄疫の発生が続いています。現在、日本にも

口蹄疫が侵入する危険性が高まっていますので、発生予防の徹底をお願いします。

○関係者以外の立入を禁止
○消毒の励行
○発生国への渡航を控える
○発生国からの郵便物などを農場へ持ち込まない

○農場へ出入りした人や車の記録を行い保管する

※疑わしい症状がみられたら、中央家畜保健衛生所まで連絡してください。

中央家畜保健衛生所

☎ 94512297

問合せ／農林水産課 畜産係
内線(3234)

催し

平成二十七年 春の交通安全 県民運動の実施について

交通事故のない、安全で安心して生活できる社会を築きましょう。

期間／四月六日(月)から十五日(水)までの十日間

出発日時／四月六日(月)午後四時

場所／沖縄市民会館中ホール
問合せ／市民生活課 交通防犯係
内線(2212)

平成27年度 沖縄市立幼稚園保育料及び預かり保育料について

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、幼稚園保育料及び預かり保育料は保育所保育料と同様に「応能負担」となります。
※応能負担とは、保護者の所得によって、利用料を負担する仕組みです。

○幼稚園保育料及び預かり保育料の主な変更点

- ・世帯の所得に応じた「応能負担」での保育料設定となります。
- ・幼稚園保育料
 1. 幼稚園児から小学校3年生までの範囲において、最年長の子どもから順に2人目は半額、3人目以降については無償となります。
 2. 「市民税所得割課税額が77,100円以下の世帯」のうち、「ひとり親世帯及び在宅障がい児(者)のいる世帯」については、右記の表のとおり減額となります。
- ・預かり保育料
 1. 「非課税世帯及び所得割非課税世帯」又は「市民税所得割課税額が77,100円以下の世帯」のうち、「ひとり親世帯及び在宅障がい児(者)のいる世帯」については、右記の表のとおり減額となります。

備考)

- ① 4月から8月分の保育料は平成26年度の市町村民税(平成25年中の収入に対するもの)、9月から3月分の保育料は平成27年度の市町村民税(平成26年中の収入に対するもの)により決定されます。
- ② 未申告により課税状況が確認できない場合は、最高額の5階層の保育料及び預かり保育料となる場合がありますので、お早めに申告を行なって下さい。
- ③ 平成26年1月2日以降に沖縄市へ転入された方は、本市で課税状況が確認できないため、平成26年1月1日に住所を有していた市町村にて「平成26年度所得課税証明書」を取得し、幼稚園にご提出下さい。
- ④ 推定年収は、夫婦(共働き)と子ども2人のモデル世帯におけるおおまかな目安です。

●平成27年度 沖縄市立幼稚園保育料基準額表

階層区分	推定年収 (目安)	幼稚園保育料 (月額・円)			預かり 保育料	
		第1子	第2子	第3子		
1 生活保護世帯等	-	0	0	0	0	
2 非課税世帯及び所得割非課税世帯	~270万円	ひとり親世帯及び在宅障がい児(者)のいる世帯	0	0	0	3,400
		上記以外	0	0	0	4,400
3 課税額77,100円以下	~360万円	ひとり親世帯及び在宅障がい児(者)のいる世帯	4,000	2,000	0	4,600
		上記以外	5,000	2,500	0	5,600
4 課税額77,101円以上211,200円以下	~680万円	6,300	3,150	0	6,800	
5 課税額211,201円以上	680万円~	7,900	3,950	0	8,000	

※課税額は、市町村民税所得割額

問合せ／保育・幼稚園課 幼稚園係 内線(3173・3174)

平成二十七年 沖縄市 表彰式典・祝賀会

本市の政治、経済、文化、社会その他各般にわたって市政の振興に寄与し、又は広く市民の模範と認められる行為があった方々を表彰いたします。

多くの市民の皆さまのご参加をお待ちしております。

開催日／四月九日(木)

開場／午後五時三十分

開式／午後六時

場所／沖縄市民会館中ホール

入場料／無料

被表彰者(三月十三日時点)／

【功労表彰(個人)】

東門美津子

【一般表彰(個人)】

知念清哲、比嘉良美津、

津波古洋子、久場兼功、

伊禮幸子、比嘉ひとみ、

金城廣、仲宗根清朝、

山内盛芳、温井明二、

喜友名諒

【一般表彰(団体)】

沖縄市文化協会、

沖縄市母子保健推進員協議会、

上門工業株式会社、

株式会社上門工業、

華道家元池坊沖縄ゆうな会支所

翠光会、表千家流尚風会

(敬称略・順不同)

※被表彰者の功績などについては、市ホームページでもご確認頂けます。

問合せ／秘書広報課

内線(2410)

募集

住宅用太陽光発電システム
の補助金交付について

申請期間／平成二十七年四月一日(水)～平成二十八年三月三十一日(木)

補助金額／一件につき五万円

※先着百五十件

主な要件／

①市内に住所を有する個人であること

②市税を完納していること

③自ら居住する住宅に太陽光発電システムを設置し、電力会社と電力の受給を開始していること

※平成二十七年一月から三月に電力の受給を開始した方は、受給を開始した日の翌日から六か月以内に申請してください。

申請方法などはお問合せ下さい。

問合せ／環境課

内線(2227)

住宅地(保留地) 公売案内

公売する保留地

美里第二土地区画整理事業地区内(1筆)

場所：東一丁目(110街区-2)

面積：121㎡(36.60坪)

処分単価(㎡)：74,300円/㎡

処分価格：8,990,000円

申込期間などの詳細は区画整理課窓口及び広報おきなわ5月号でお知らせする予定です。

◆市ホームページでも保留地公売案内をしています

問合せ／建設部 区画整理課
内線(2546・2550)

沖縄市小口資金融資制度

市内に事業所を有し、継続して一年以上同一事業を営む中小企業者(小規模企業者を含む)に対して、運転資金・設備資金・転業資金などを融資しています。

但し、前年の1月1日までに本市の住民基本台帳に記録され、引き続き居住しているなどの要件があります(法人企業の代表者は市外でもかまいません)。

【受付期間】平成27年4月6日(月)～平成28年3月31日(木)(予定)

【融資限度額】700万円

【融資利率】一般小口 年利 2.00%(予定)
特別小口 年利 1.95%(予定)
(別途保証料有)

【融資期間】7年以内(据置あり)

【償還方法】月賦償還

【担保及び保証人】無担保、連帯保証人は必要に応じて求める。
なお、保証協会が実施する特別小口保証の運用あり。

【取扱金融機関】沖縄銀行、琉球銀行、コザ信用金庫、沖縄海邦銀行の市内本店又は各支店

申込・問合せ／商工振興課 商業係 内線(3226)

※受付期間及び融資利率に関してはお問合せ下さい。

平成27年度 固定資産税の 縦覧・閲覧制度についてお知らせ

縦覧制度

納税者が、自己の土地・家屋と他の土地・家屋の評価額を比較し、適正かどうか判断するための制度です。

- 縦覧期間 4月1日(水)～4月30日(木)
※午前8時30分～午後5時(土日・祝日を除く)
- 必要なもの 印鑑、申請者本人を確認できるもの(運転免許証など)、沖縄市固定資産税納税者であることが確認できるもの(納税通知書など)
※代理人の場合は、納税者などからの委任状が必要です。

閲覧制度

納税義務者などが、自己の資産について、固定資産課税台帳に記載された内容を確認できる制度です。また、借地・借家人なども使用または収益の対象となる部分の閲覧ができます(下表参照)。なお、納税通知書の中の課税明細書でも課税台帳に記載された内容を確認することができます。

- 閲覧期間：通年

閲覧できる人	閲覧できる内容
固定資産税の納税義務者	当該納税義務者に係る全ての固定資産
土地や家屋について、賃借権その他の使用又は収益を目的とする権利(対価が支払われるものに限る)を有する者	当該権利の目的である土地(家屋の場合は、家屋およびその敷地である土地) ※当該権利を証する書類の提示が必要です。
固定資産の処分をする権利を有する一定の人(賦課期日以後に固定資産を取得した人など)	当該権利の目的である固定資産 ※当該権利を証する書類の提示が必要です。

縦覧・閲覧場所／資産税課(本庁2階)

※平成27年度の固定資産税納税通知書は4月1日に発送予定です。

※土地・家屋を2人以上で所有している方については、共有名義者全員に固定資産税の納税通知書を送付します。

なお、納付書についてはこれまで通り代表者の方へ送付します。

※平成25年度より、県内金融機関に加え、全国のコンビニエンスストアでも納付できるようになりました。

詳しくは納税通知書に同封のチラシ、または市のホームページをご覧ください。

問合せ／資産税課 内線(2254～2257)

生ごみ処理容器機購入補助制度利用者募集

生ごみ処理容器機を購入する方へ補助金を交付します。
※予定台数に達し次第終了します。

●処理機

予定台数／約三十台
補助金額／購入額の半額
(上限三万円)

●処理容器(コンポスト)

予定台数／約十五台
補助金額／購入額の半額
(上限三千元)

【申請方法】

販売指定店で商品を決め、購入する前に申請書及び見積書などを環境課へ提出してください。申請についての資格要件などがありますので、詳細はお問い合わせください。

【注意事項】

販売指定店以外で商品を購入した場合は、補助金の交付を受けることはできません。

申請書は、必ず商品購入前に本人又は、本人から委任を受けた販売指定店の方が提出してください。購入後の受付はできません。

※販売指定店については環境

課へ、取扱い商品については販売指定店へお問合せください。
問合せ／環境課 クリーン係
内線(2225)

平成二十七年 沖縄市親子ふれあい体験活動助成事業実施団体募集

目的／家庭や地域の教育力向上を目的に、親子がふれあう場、子ども同士や地域の交流につながる体験活動に対し、講師謝礼金を助成します。

今までに、平和学習、農業体験、環境エコ体験などの事例があります。

実施期間／平成二十七年四月～平成二十八年二月
募集団体／

- ・学習テーマコース…三団体(活動回数五回)
- ・チャレンジ体験コース…二十三団体(活動回数三回)

※親子十人以上で一団体とし、定員に達し次第締め切りします。

申込方法／指定の計画書を提出(内容審査あり)※土日・祝日を除く午前九時から午後五時まで

申込・問合せ／生涯学習課
内線(2744)

平成27年度 児童扶養手当及び特別児童扶養手当の 手当額について

平成27年1月30日付けで平成26年全国消費者物価指数の実績値が公表されました。その結果、平成27年度の児童扶養手当額及び特別児童扶養手当額が2.4%の引き上げとなります。

平成27年度の児童扶養手当額 (月額)

※金額は全て月額です。
※児童2人目については、5,000円の加算、3人目以降は1人につき3,000円の加算となります。

区分	これまで(平成26年度)	これから(平成27年度)
全部支給	41,020円	42,000円 (前年度+980円)
一部支給	41,010円～9,680円	41,990円 (前年度+980円)～9,910円 (前年度+230円)

平成27年度の特別児童扶養手当額 (月額)

※金額は全て月額です。

区分	これまで(平成26年度)	これから(平成27年度)
1級	49,900円	51,100円 (前年度+1,200円)
2級	33,230円	34,030円 (前年度+800円)

問合せ／子ども家庭課 内線(3196・3197)

特別障害者手当・障害児福祉手当の 制度について

●特別障害者手当(20歳以上の方)

在宅で、著しく重度の障がいがあり、日常生活において常時特別の介護を必要とする方が対象です。施設入所または病院などに入院している方は対象になりません。

●障害児福祉手当(20歳未満の方)

在宅又は入院中で、著しく重度の障がいがあり、日常生活において常時特別の介護を必要とする方が対象です。施設入所の方は対象になりません。
※両手当ともに所得制限があり、毎年現況届の提出が必要です。

【申請方法】

医師の診断書や、その他書類の添付が必要です。詳しくはお問合せください。

《特別障害者(障害児福祉・福祉)手当の額改定について》

平成27年1月30日付で平成26年全国消費者物価指数の実績値が公表されました(対前年比2.7%)。その結果、特別水準の段階的な解消(平成27年4月以降は▲0.3%)とあわせて、平成27年4月より、特別障害者手当等の手当額が2.4%の引き上げとなります。

区分	平成26年度の支給月額	平成27年度の支給月額(カッコ内は引上げ額)
特別障害者手当	26,000円	26,620円 (+620円)
障害児福祉手当(経過的)福祉手当	14,140円	14,480円 (+340円)

※手当受給中の方は、住所・氏名などの変更や施設入所、3か月以上の入院、死亡などが生じた場合には、必ず障がい福祉課に届出てください。届出をせず受給した場合は、その全額を返還しなければなりません。

申請・問合せ／障がい福祉課
特別障害者手当等担当 内線(3157)

春から始める バランスアップ弁当作り

お弁当作りを通してバランスの良い食事を学びましょう
日時／四月二十三日(木)午前十時～午後十二時三十分(試食用)
場所／福祉文化プラザ 調理実習室

対象／市内在住・在勤の方

定員／十六人 ※要予約。応募者多数の場合は抽選

受講料／無料(エプロン・三角巾・弁当箱持参)

申込締切／四月十七日(金)午後四時

※託児が必要な方は、予約時にご相談下さい。

申込・問合せ／市民健康課 健康推進係 内線(2243)

キッズクッキング教室

もうすぐ母の日 お母さんのために料理をしよう

子ども達が調理をし、保護者と一緒に試食をします。

日時／五月九日(土)午前十時～十二時

場所／福祉文化プラザ 調理実習室

対象／市内在住、六歳～小学六年生

定員／十六人 ※要予約。応募者多数の場合は抽選

受講料／無料(エプロン・三角巾持参)

申込締切／四月三十日(木)午後三時

申込・問合せ／市民健康課 内線(2241)

春の風と一緒に歩こう 初心者向けウォーキング講座

内容／ウォーキングの基本を学びながら楽しさを実感する

講話と、2.5km程度のウォーキングを実践します。

日時／四月二十八日(火)午前十時～十二時(受付：午前九時三十分より)

場所／沖縄県総合運動公園陸上競技場正面に集合

対象／市内在住・在勤の方

受講料／無料(帽子・飲物・タオル持参) ※荷物を預かることができませので、各自での管理をお願いします。

申込締切／四月二十四日(金)午後四時

申込・問合せ／市民健康課 健康推進係 内線(2243)

明日からスクできる仕事術!!
コミュニケーション術と
タイムマネジメントの極意

人間関係を円滑にするコミュ

FC琉球 試合日程

FC琉球 vs 福島ユナイテッドFC
日時／4月12日(日)キックオフ/午後1時
会場／沖縄県総合運動公園陸上競技場

いよいよ2015
シーズン開幕!
みんなで応援して
盛り上げましょう

FC琉球 vs グルージャ盛岡
日時／4月26日(日)キックオフ/午後1時
会場／沖縄県総合運動公園陸上競技場

FC琉球 vs ブラウブリッツ秋田
日時／5月6日(水・祝)キックオフ/午後1時
会場／沖縄県総合運動公園陸上競技場

S席	
前売	当日
大人: 1,500円	大人: 2,000円
中高・大学生: 800円	中高・大学生: 1,000円
小学生: 300円	小学生: 300円
A席	
前売	当日
大人: 1,000円	大人: 1,500円
中高・大学生: 300円	中高・大学生: 500円
小学生: 無料	小学生: 無料

問合せ／FC琉球 ☎ 923-0547

平成27年4月1日より

生活困窮者の支援制度が始まります

「働きたくても働けない」・「住む所がない」など、生活全般にわたる困りごとの相談窓口が開設されます。

周りでお困りの方がいれば、その方へもお知らせ下さい。

相談窓口／沖縄市仲宗根町35番3号1階(沖縄市役所近く)
問合せ／保護課 生活困窮者自立支援事業担当 内線(2146)

平成27年2月の消防活動状況

◇救急出場件数… 577件 ◇火災出場件数… 7件
◇救急搬送人員… 532人 ◇救助出場件数… 2件

平成26年中の救急出場件数は、7,412件で過去最高となり、救急車で搬送された人のうち、約半数が入院を必要としない軽症という現状でした。

《市民の皆さん、救急車の適正利用にご協力をお願いします》

問合せ／沖縄市消防本部 警防課 ☎ 929-0900

四月は、固定資産税一期分の納期です。納期限及び口座振替日は四月三十日！前日までに残高確認を！！

ニケーション術の秘訣と、仕事を効率的に進めるためのタイムマネジメント術を学びます。
講師／島袋十史樹氏(プラスコミュニケーションズ代表)
日時／【全三回講座】五月十五日(金)、二十二日(金)、二十九日(金)午後七時～九時
場所／沖縄市男女共同参画センター会議室
対象／市内在住または在学・在勤の男女
定員／二十人 ※要予約。応募者多数の場合は抽選
受講料／無料
託児／満六か月～小学四年生(無料・要予約)
申込期間／四月一日(水)～五月一日(金) 午前九時～午後五時(土日・祝日を除く)
申込方法／電話または直接
申込・問合せ／沖縄市男女共同参画センター
☎ 93710170
89416175

「ワード・エクセル入門講座」受講生募集

内容／ワードやエクセルの初歩から中級までを学びます。
講座期間／五月七日から二十八日(月・水・木・火・木・エクスセル)
※その他就労・母子父子支援

講座あり(午後一時～四時、相談可)
時間／午前九時～十二時
場所／沖縄市福祉文化プラザ
対象／市内在住の十八歳以上でマウス操作・文字入力ができる方
定員／計十人 ※申込者多数の場合は抽選
受講料／無料
筆記用具持参、マニュアル貸出、施設内のパソコン使用(パソコン持込み相談可)
申込／随時(午前九時～十二時・午後一時～五時)
申込方法／電話受付及び来訪
※四月の最終週に受講決定者のみ連絡します。
問合せ／沖縄市福祉文化プラザ
☎ 93011692

救命講習会のご案内

消防本部では、緊急時に現場に居合わせた人が速やかに救命処置を行える体制を整えるため、市内47か所のコンビニエンスストア(ファミリーマート・ローソン・ココストア)にAEDを設置し、運用しています。
身近にあるAEDの使い方や救命処置を学び、いざという時に大切な人を救いましょう。

●普通救命講習Ⅰ

日時	場所	定員
4月18日(土) 午前9時～12時	消防署(美里)	30人
4月28日(火) 午後2時～5時	山内出張所	15人

◇内容:成人に対する心肺蘇生法を中心に、AEDの取扱い、大出血時の止血法や異物除去を学びます。

●普通救命講習Ⅱ

日時	場所	定員
4月23日(木) 午後2時～5時	消防署(美里)	15人

◇内容:小児・乳児・新生児に対する心肺蘇生法を中心に、AEDの取扱い、大出血時の止血法や異物除去を学びます。

◇対象者:小児に関わる保護者、保育士、幼稚園・小・中学校職員、ライフセーバー、スポーツ指導者等や、受講を希望する方。

●上級救命講習

◇日時:4月19日(日)午前9時～午後6時
◇内容:心肺蘇生法(成人・小児・乳児)、AEDの取扱い、大出血時の止血法、異物除去、外傷の手当、搬送法など。
※筆記及び実技試験があります。
◇場所:消防署(美里) ◇定員:30人
・受講料/無料
・講習修了者に対し救命講習修了証を発行
・申込受付/午前8時30分～午後5時15分(土日・祝日を除く)
※定員に達し次第締切

申込・問合せ／沖縄市消防本部 警防課
☎ 929-0900

地域・学校連携施設の開放に関するご案内

市教育委員会では、市内小学校7校・中学校3校に併設された「地域・学校連携施設」の市民開放を行っております。地域での生涯学習活動などに利用できますので、ぜひご利用下さい。

学校名	連絡先(学校)
山内小学校	933-6562
北美小学校	937-3616
室川小学校	938-2177
美里小学校	938-8844
美原小学校	934-0021
泡瀬小学校	934-2122
比屋根小学校	930-0581
山内中学校	933-4793
美里中学校	937-3614
沖縄東中学校	934-9460

- 開放日時 [原則]平日:午後6時～10時
土日・祝日:午前9時～午後10時
※但し、学校教育に支障のない範囲内で開放します
- 利用対象者 学校区内に在住、在勤または在学する方、おおむね10人以上の団体(校区外でも教育長が認める団体)
※児童・生徒の利用は監督責任者(成人)が必要です
- 利用方法 市教育委員会が委嘱する各学校の管理指導員に連絡し、所定の手続きをもって利用ができます。詳しくは、各学校へお問い合わせください。

問合せ／生涯学習課 内線(2742)

図書館だより

☎ 93216881

※定例おはなし会
絵本などの読み聞かせや手遊びなどをしています。お気軽にどうぞ！
四月十一日(土) 午後三時
四月十八日(土) 午後三時
四月二十五日(土) 午後三時

・ちいさなねこ(絵本)
・きょうのおねとうなんだるな(絵本)
・まあちゃんのがいかみ(絵本)
・なんでもたべる元気なまあちゃん(エブロンシター)
・たかこ(絵本)
・ちびゴリラのちびちび(絵本)
*休館日
公休日(文化の日を除く)・毎週月曜日第4木曜日(館内整理日)・特別整理期間・年始年末はお休みです。
四月一日(システム入替のため)、六日(月)、十三日(月)、二十日(月)、二十三日(館内整理日)、二十七日(月)、二十九日(昭和の日)
日時/五月二日(土)午後三時

編集後記

先日取材した児童センターのお化け屋敷で、怖さのあまり先生にしがみつき、ひたすら泣きながら、園児の団が、おもしろいかわいすぎる。(周) 給食で食用菊が提供された取材に行きました。食用菊を栽培している農家さんと待ち時間にいろいろお話ししたのですが、何日かたって実は仲良し後輩の義太と判明(笑)沖縄でせまいね(笑) (倉) 今日号で広島東洋カープの春季沖縄キャンプを紹介した。今年の取材は、日ごと取材担当を分担してみた。黒田投手の周りは報道陣が多く、投球練習の写真さえも撮影できなかった。(川)



おきはぐん

平成26年度

ヘルシーおきなわシティ21 さんなな 37運動



みんなで仲良く健康づくり
三十七自治会で同時開催

地域での交流を図り親睦を深めながら市民一人ひとりが普段の食生活や運動習慣を見直し、これからの健康づくりについて考え実践しようとヘルシーおきなわシティ21「37運動」(沖縄市主催)が三月七日と、その周辺の日程で市内三十七自治会を会場に実施され、多くの市民が参加した。

各自治会などで開催された「37運動」は、医師による病気の予防についての講話や食生活改善推進員によるヘルシー料理教室、運動指導士による気軽にできる体操やウォーキングの指導、青空の下で行うグラウンドゴルフに室

内で行うカラーリング教室など多彩なプログラムで実施された。松本自治会で行われた歯みがき教室では、参加したすみれっ子保育園の園児達が歯みがきの大切さと正しい磨き方を習った。37運動は、講師の先生方の協

力のもと行政・自治会・地域の病院などが一体となって実施しており、参加者は、口頃の生活環境の見直しや運動不足の解消、毎日の生活に役立つ健康づくりのアドバイスをもらうなど、それぞれの自治会で有意義な時間を過ごした。



▲椅子を使って無理なく筋力アップ(比屋根)



▲一生懸命歯みがき中(松本)



▲膝痛、腰痛に効く体操や柔軟体操を行った(城前)



▲カラーリングにチャレンジ(海邦町)



▲ウォーキングについて学ぶ(明道)



▲プロにメイクをしてもらおう(センター)



▲体に良いヘルシーメニュー教室(池原)



▲昼休みにうなあぐちラジオ体操が行われた(沖縄市役所)



▲子どもと一緒にグランドゴルフ(山里)